

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	キッズサポート多摩第二めぐみクラブ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と色

<テーマの設定理由>

部屋の環境設定を考えた時に天蓋をつける事が取り入れたいことのひとつだった。光と影の作る柔らかさから安心感を持たせることが出来ると思ったからだ。そのことから発展して、光を通し、色を取り入れたいろいろな遊びが出来るのではないか。光を取り入れた作品作りをやる事で、さらに光や色に興味を持って欲しいと思い、テーマを『光と色』に設定した。

2. 活動スケジュール

- ① カラーポリを使ってパラバルーン遊び
- ② セロファンを使ったステンドグラス作り（夏・冬）
- ③ 光るクレヨンを使っての自由画、トンネルの中に入れてブラックライトで照らして遊ぶ。
- ④ 手作りランタンを持って暗い部屋に行ってみる。
- ⑤ セロファンを小袋に入れて水の中に浮かばせて遊ぶ。
- ⑥ 水遊びの時に、アクリル積み木で遊ぶ。
- ⑦ おはじきを使ってサンキャッチャー作りをする。
- ⑧ おはじきを使ってステンドグラス作りをする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・天蓋用布 ⇒天井に取り付け
- ・カラーポリ
- ・光るクレヨン、ブラックライト
- ・セロファン、ライト
- ・アクリル積み木
- ・おはじき（2種類）、ガラス絵の具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・環境設定として、天井に天蓋を取り付ける事で落ち着いた雰囲気を作り、さらに光をやわらかくする効果を持たせた。

・主に、カラーセロハン、カラーポリ、光るクレヨン、アクリル積み木、おはじきなどの素材を使い、戸外では太陽の光の中で照らし、光を通した色の鮮やかさを楽しんだり、製作では、季節に合わせた題材で、セロハンを使ったステンドグラス作りを年間通して楽しんだりした。また、ランタンを作って、暗い部屋に入っていく体験もして明暗のちがいが分かり探索する楽しさも知った。大きな製作としては、おはじきを使った『サンキャッチャーづくり』『ステンドグラス作り』を行い、集中して作り上げたものが光を通して見える美しさを感じた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達が力を合わせて、パラバルーンを持って振ったり仰いだりして楽しんでいる姿が見られた。時間の合間にセロハンを使ったステンドグラス作りはやりたい児が順番を待ちながら楽しんでいた。作品を窓に貼ると、窓を見上げてお迎えに来た母親に教えている児もいた。おはじきを使う事は細かい作業になったが、とても集中して保育者が伝えた事を聞いて取り組んでいた。

5. 振り返り

<

小さいながらも綺麗なものには惹かれ、きれいなものを手にすると気持ちも穏やかになることがよく分かった。サンキャッチャーはそのひとつになったと思う。また、セロハンを使ったステンドグラスづくりから、おはじきやガラス絵の具を使う事で素材の違いでの光の通し方を知った。



振り返りによって得た先生の気づき>